

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2016-180820(P2016-180820A)

【公開日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2016-059

【出願番号】特願2015-60222(P2015-60222)

【国際特許分類】

G 10 H 1/34 (2006.01)

G 10 H 1/00 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/34

G 10 H 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の押弦位置が定められた指板と、

前記押弦位置の夫々に対応付けて設けられ、導電性の複数の弦夫々との間の距離の変化に応じて共振周波数が変化するとともに、前記共振周波数が隣接する前記押弦位置間で夫々異なるように構成された複数の共振回路と、

前記共振周波数の変化を検知する複数のセンサと、

前記複数のセンサ夫々が検知した前記共振周波数の変化に基づいて、押弦位置を検知する押弦位置検知部と、

を備える押弦位置検知装置。

【請求項2】

前記共振回路は、隣接する前記押弦位置間で当該各押弦位置に対応する各前記共振回路に含まれる各キャパシタの容量値が異なる請求項1に記載の押弦位置検知装置。

【請求項3】

前記指板の位置に応じて、前記共振周波数の異なる共振回路の数を変化させる請求項1または2に記載の押弦位置検知装置。

【請求項4】

複数の弦と、

請求項1乃至3のいずれかに記載の前記押弦位置検知装置と、

前記押弦位置検知装置により検知される押弦位置に応じた音高で楽音を発生する音源と、を有する電子弦楽器。

【請求項5】

複数の押圧位置が定められた誘導性の押圧板と、

前記押圧位置の夫々に対応付けて設けられ、夫々が前記押圧板との間の距離の変化に応じて共振周波数が変化し、前記共振周波数が隣接する前記押圧位置間で夫々異なるように構成された複数の共振回路と、

前記共振周波数の変化を検知する複数のセンサと、

前記複数のセンサ夫々が検知する前記共振周波数の変化に基づいて、押圧位置を検知す

る押圧位置検知部と、
を備える押圧位置検知装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

態様の一例では、複数の押弦位置が定められた指板と、前記押弦位置の夫々に対応付けて設けられ、導電性の複数の弦夫々との間の距離の変化に応じて共振周波数が変化するとともに、前記共振周波数が隣接する前記押弦位置間で夫々異なるように構成された複数の共振回路と、前記共振周波数の変化を検知する複数のセンサと、前記複数のセンサ夫々が検知した前記共振周波数の変化に基づいて、押弦位置を検知する押弦位置検知部と、を備える。